

岩手県福祉サービス第三者評価の結果

1 第三者評価機関

名 称	社会福祉法人 岩手県社会福祉協議会	認証番号	第 2 号
所在地	盛岡市三本柳 8-1-3	評価実施期間	平成 24 年 11 月 15 日 ～平成 24 年 3 月 9 日

2 事業者情報

事業者名称（施設名）：生活支援センター	種別：障がい者共同生活介護・居宅介護
代表者氏名：理事長 及川 忠人 管 理 者：センター長 佐藤 研司	開設年月日 昭和 63 年
設置主体：社会福祉法人 カナンの園 経営主体：社会福祉法人 カナンの園	定員（利用人員） 54 名
法人所在地：二戸郡一戸町中山字大塚 4-7 事業所：二戸郡一戸町中山字大塚 4-7	TEL：0195-36-1026 FAX：0195-36-1027 TEL：0195-35-3844 FAX：0195-35-3840

3 総評

◇ 特に評価の高い点

○キリスト教を価値観とした経営の基本姿勢の取組みについて

カナンの園は、1972年社会福祉法人として認可された。人間として生まれながら、知的ハンディにより社会から差別されていることに対して、救済の旗を掲げて行動されたのが初代理事長伊崎正勝先生である。先生は、この事業は「神様の事業」と確信をもって「奥中山学園(定員40名)」を開設され、多くの子ども等の幸福をめざした支援活動が展開され今日に至っている。

カナンの園は、人間がその能力を十分に発揮していくためには、生活、教育、労働の三つの場が保障されなければならないとし、これを実現するために多様な機能をもった小さな施設、学校、職場を地域社会に分散させ、地域社会と密接な連携のもとに、連動体としての施設整備を図って来られ、今日の支援体制が確立されたものと云える。カナンの園は、法人の設立趣旨からしてキリスト教を基にした経営方針が確立され今日まで継承されている。優れた価値観のもとで経営が持続進展されてきたものと理解したい。

◇ 改善が求められる点

○法人の理念と基本方針の整理について

理念と基本方針は、①カナンの園のねがい、②カナンの園の3本柱、③カナンの園の今日的使命からであるとされているが、どれが理念で基本方針なのか判断が難しい。

理念は、法人施設の社会的存在理由や、信条を明らかにしたものである。法人経営や、多様な事業を進める上で、職員や利用者等への周知を前提として明文化されることが望ましいとされている。

また、基本方針は、この理念に基づいて当該施設の利用者等に対する姿勢や、地域との関わり方、施設が有する機能等を具体的に示す重要なものである。このことから、理念は誰にでも分かり易い、文章表現で明文化されることが望ましい。また、基本方針は、子どもの権利擁護の視点、施設の役割や機能など具体的に記載されていることが望ましい。現在の理念と基本方針とされている①～③までを整理して、新たな法人施設(事業所)の理念や基本方針の策定が必要と思われる。

4 第三者評価結果に対する事業者のコメント

すばらしい理念があると評価して頂いているが、それを具体的に噛み砕いたものを明文化していく必要があると思う。また、各種マニュアルや記録が未整備なところがあるので、優先順位を決めて整えていく方向である。24年度も受審予定なので、第三者評価の担当を決めて計画的に進めていくこととした。

5 各評価項目にかかる第三者評価結果 （別紙）